

施策評価票

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

1 心豊かにたくましく生きる子どもの育成

- ◎基礎的な学力・体力の向上
- ◎時代の変化に対応した教育の推進
- ◎多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援
- ◎豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- ◎地域とともにある学校づくり
- ◎教育環境の整備
- ◎地域で育む教育の推進
- ◎特色ある交流事業の推進

2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供

- ◎生涯各期における学習活動の充実
- ◎社会教育の充実と活性化
- ◎多様な分野の学習活動の促進
- ◎自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築

3 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実

- ◎芸術文化の振興
- ◎文化財の保護継承と活用
- ◎地域の芸術文化の創造
- ◎山岳文化の振興と活用
- ◎スポーツの振興

進捗状況

A・・・順調/B・・・おおむね順調/C・・・やや遅れている/D・・・遅れている/E・・・未実施

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

◆1 心豊かにたくましく生きる子どもの育成◆

子どもたちを取り巻く課題は、少子化による児童数や学級数の減少に伴う教育環境の維持、確保のほか、教育の格差やいじめ、不登校、非行の問題など多岐にわたり、地域全体で解決に向けた取組みが求められています。

子どもたちを学校・家庭・地域が協働して支援するコミュニティ・スクールを推進し、郷土に誇りと愛着を持ち、将来への目的意識や自尊感情、人を思いやる心と社会において自立的に生きるために必要な「たくましく生きる力」を育みます。

また、コミュニティ・スクールの取組みの中で、今後の少子化を見据え、学校等の統廃合を含めた、あらゆるケースを想定しながら、幼児期を含めた教育のあり方全般について、地域とともに協議を進めます。

【基礎的な学力・体力の向上】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎基礎学力の定着と向上	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実 30人規模学級、少人数による学習集団指導、習熟度別学習等の推進 基礎学力を向上させる取組みの推進 社会性の確立と基礎体力向上の促進 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導のさらなる工夫改善が必要である。 中学校にも30人規模学級を取り入れ、小・中すべての学校で少人数による指導が実現。 すべての学校で全国学力テストを実施するなど、子どもの実態の正確な把握のもと、指導改善を実施し、全国と比較しても良好な結果である。 	B
◎小中一貫、小中連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育や連携教育の推進により、義務教育を一貫した教育課程でつなぐ協働の学びを通じた児童生徒の自立学習の促進 		<ul style="list-style-type: none"> 美麻義務教育学校では一貫教育を実施、八坂小・中学校や大町北小学校と第一中学校などでは連携教育を実施している。 	B
◎中高連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 大町岳陽高校に中高連携教員を配置し、数学・英語教科などの連携の推進に加え、進路指導を充実 		<ul style="list-style-type: none"> 中高連携職員の配置を図り、中学生による体験入学や、市内中学との交流会など、取り組みを始めている。 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「きらりおおまちサンプラン」や元気アップ運動の実践による正しい生活習慣の確立 ・スマイルマラソン、サーキットトレーニングなど体力向上の充実を図り、継続して定着化 	学校教育課	全国と比較して、体力の低下が懸念されるため、生活習慣の改善や、大学と連携した元気アップ事業をモデルとした取り組みを一層推進する。また、すべての学校で体力テストを実施し、継続的にデータをチェック、検証しながら、課題にあった体力づくりを実施する。	B
◎運動部活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生期のスポーツ活動指針」に基づく、適切で効果的な運動部活動の促進 	学校教育課	活動指針に基づき、効果的な運動部活動を促している。また市独自の活動方針により、活動時間等の適正な管理を実施している。	B
◎学校給食における食育・地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を通じた教育や、地域の農産物や料理を通じて地域への理解を深め、児童生徒の健康な体づくりを促進 	学校教育課	地産地消の取り組みを更に推進する為、生産者と栄養士の意見交換などを実施。また、地域食材の日を設けるなど、地域食材を通じた食育にも力を入れている。	B
		農林水産課	JA大北による地元農産物の集出荷の支援を行い、学校給食における利用を進めている。	B

【時代の変化に対応した教育の推進】

進捗状況：A・・・順調/B・・・おおむね順調/C・・・やや遅れている/D・・・遅れている/E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎アクティブラーニングの定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した、アクティブラーニングによる課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの実践 	学校教育課	ICT機器を活用しながら、協働の学びを実践。市内全校でのより深い学びへの取り組みを進めている。	B

第1 ふるさに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎外国語学習の充実	・外国語指導助手（ALT）の積極的な活用		市内中学校3校（一中、仁中、美麻小中）にALT3名を配置し拡充するとともに、小学校の外国語活動へも派遣している。今後、小学校の英語教科化への対応が必要である。	B
◎正しいメディア教育の推進	・情報化社会の進展に対応した、適切なメディア教育の推進		情報モラルアンケートを実施。情報教育の一環として、外部講師を招いた情報モラルの講演会等実施している。	B

【多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎特別支援教育態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・心身に障がいを持つ児童生徒に対する支援態勢の整備充実 ・障がいのある子どもを含む全ての子どもが共に学ぶインクルーシブ教育の推進 ・教職員の確保と指導力の養成 	学校教育課	特別支援教育補助指導員の配置等、特別支援学級の充実によって、個に応じた支援体制が組めてきた。	B
◎特別支援指導員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい等を持つ児童生徒の通常学級への在籍に対応するための特別支援指導員の配置 			
◎心身障がい児のための教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署、機関と連携した発達障がい児の早期把握と支援 ・教育相談委員会の充実 	学校教育課	教育相談委員会を通じた、早期把握や支援体制の確立を進めてきている。関係部署との、より充実した連携を推進する。	B
		子育て支援課	保育園、認定こども園、幼稚園において、5歳児発達相談及び巡回相談を実施。発達特徴の理解を深め、発達状況に応じ就学に向け支援している。	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎外国籍児童生徒に対する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実 	学校教育課	通訳支援者を必要に応じて学校に配置して支援している。しかし多様な言語に対応する通訳支援者の確保が難しく、併せて財政的負担が大きい。	B
-------------------	---	-------	---	---

【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎不登校等の悩みを抱える子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の様々な悩みや課題の早期発見、早期対応に向けたスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置と関係機関の連携強化 学校が一丸となった課題の解決と、家庭や地域と連携した取り組みの推進 登校支援指導員や心の教室相談員の配置による就学支援に向けた取り組みの推進 中間教室「アルプスの家」への適応指導員の配置による支援態勢の充実強化 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー2名を配置し、定期的に市内小中学校を訪問して、さまざまな悩みや課題に対応している。 中間教室での支援体制や、関係づくりを充実するなかで、通室生徒の進学や、学校復帰を叶えている。 	A
◎道徳教育・人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> いじめなど学校での悩みや課題を持つ児童生徒の早期発見と早期支援等解決に向けた取り組みの強化 いじめや不登校の児童生徒ゼロを目指し、人権教育を基本とした学校、学級づくりの推進 福祉、保健、医療等との連携強化やスクールカウンセラー等の支援、指導態勢の充実 	学校教育課	児童・生徒たちが自らいじめ根絶に向けた取り組みを実施している。人権を考える市民の集いを学校で開催することにより意識の向上が図られている。	A
		生涯学習課	地区人権を考える市民の集いを学校で開催し、児童生徒の人権に対する意識向上が図られている。	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

【地域とともにある学校づくり】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎コミュニティ・スクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性を生かし、学校や家庭、地域住民が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」の推進 児童数の減少に伴う学校のあり方や地域課題についての協議の場の設置 学校開放行事など地域に開かれた学校づくりの推進 特色ある学校づくりを通じた地域の活性化 地域人材の活用の推進 学社連携・融合事業の充実 	学校教育課	学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールとしてすべての市立学校を指定し、地域に開かれ、地域と一体となった学校づくりを一層推進する。	A
		生涯学習課	運動会などの地域行事を小学校と共同開催し、学校と地域との一体感を深めている。 公民館長をはじめ、社会教育関係者などの人材をコミュニティ・スクールのコーディネーター等として共用することにより、学社連携・融合を進めている。	B
◎社会人・職業人として自立に必要な能力、意欲の形成を図るキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育推進協議会を設置し、小学校・中学校・高等学校が一貫した連携態勢の整備 職場見学、職業体験学習先の登録制の導入と事業者による学校支援の充実 キャリア教育指導員による相談、支援の充実 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を中心に、小・中・高が連携した教育カリキュラムの作成が必要である。 職場体験や職場体験受入先の発掘等拡充が必要であり、市全体として構築した体制により、今後さらなる推進を図る。 	B
		生涯学習課	不登校など特に支援が必要な子どもについて、義務教育終了後も進学、就職後も見守り、必要な支援・相談を提供する体制を取っている。義務教育終了後に支援が必要となった子どもを把握できないことが課題。	D
◎郷土を学ぶ体験学習、郷土愛・郷土に誇りを持つ気運の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」を活用した体験学習や校外活動等による地域への理解を深める活動の推進と、郷土を愛する心の醸成 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習に地域との連携が進んでいる。 学校ごと、お米作りや伝統工芸など、地域に根ざした学習を取 	A

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> 総合学習等の成果を市民に発表する機会の提供 		り入れている。	
◎学校支援員、ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校ボランティア等の人材育成の推進と活動の拡大 学校支援員の育成と相互の連携の強化 地域とともにある学校づくりと協働の気運の醸成 		<ul style="list-style-type: none"> 学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールの導入を推進し、地域とともにある学校づくりを進めている。 コーディネーター会議を開催し、資質向上を図り、市内各校の情報交換や課題解決に向けた取り組みを進めている。 コーディネーターを中心に、学校ボランティアの活動推進や人材育成に取り組んでいる。 	A

【教育環境の整備】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎幼児期を含めた教育のあり方の検討	<ul style="list-style-type: none"> 少子化の進行など時代の変化や地域の特性に応じた教育全般のあり方についての検討 	学校教育課	義務教育のあり方検討委員会の設置。	B
		子育て支援課	子育て支援センター等、保育施設や地域子育て支援事業の中で、講座や教室を開催しているが、あり方について関係機関と連携し検討する。	B
◎施設・設備・機材の整備	<ul style="list-style-type: none"> 効果的なひとづくりにつながる小中学校の施設整備の検討や実施 教育環境の充実を図るための、設備・機材等の整備 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 特に小学校は老朽化が著しく、大規模な改修が必要であることから、大町市のファシリティマネジメントのなかで改修計画の策定と財源確保を検討していく。 理科教育設備整備等補助金の活用など教育環境の充実を図っている。 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎就学支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 就学費助成の実施 • 私立高等学校就学生徒への就学助成の実施 		<ul style="list-style-type: none"> • 経済的理由により就学困難な状況に陥ることのないよう、関係機関と連携し就学援助事業を実施している。 • 保護者の経済的負担軽減のため、私立高校生徒奨学補助事業を実施している。 	<p>A</p>
<p>◎奨学金の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 高校、大学、専門学校に就学する学生に対する奨学金制度の充実 • 新たな給付型奨学金制度の創設による、大学生等に対する就学支援の拡充 		<ul style="list-style-type: none"> • 市独自の奨学金制度を実施し、経済的な支援を実施している。平成29年度から給付型奨学金制度を創設し、支援の充実を図った。 	<p>A</p>
<p>◎通学の安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「おおまち子ども安心・安全マップ」の周知による危険箇所の情報共有と、通学時の児童生徒に対する地域の見守り態勢の確立 • 遠隔地の子どもの足を確保するためのスクールバスの運行 		<ul style="list-style-type: none"> • ホームページでの公開等、周知・活用を進めるとともに、小学校区ごとの子どもの安全を守る地域連絡会の活動の継続による、関係機関が連携した取り組みを推進する。また、道路管理者及び警察署と連携した「大町市通学路安全推進会議」を一昨年度設置、「大町市通学路交通安全プログラム」を策定。継続し取り組みを進める。 • 臨時運行など柔軟に対応し、安全な通学の確保に努めているが、法改正に伴う運賃の増額が予想される。遠距離通学児童生徒の安全確保のため、登下校における通学手段の確保、課外活動・校外活動の充実を図るうえで必要不可欠である。 	<p>A</p>

【地域で育む教育の推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎家庭教育支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に関する学習機会の提供 ・子どもや親子で参加できる体験学習の機会と内容の充実 ・広報やインターネット、学校や公民館等による啓発活動の強化 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・社地区では、心身ともに健やかでたくましいこの育成のために家庭教育懇談会を8地区で開催している。地域で生活する子どもたちの実態を踏まえながら家庭や地域での大人の関わり方について懇談会を持っている。この懇談会の他地区での開催を進める。 ・地域子育てセミナーを開催し、家庭・学校・地域の連携による具体的な実践の方策等について理解を深めている。 ・子ども会育成会の活動を支援することで子ども達が遊びを通じて自主的な体験活動する機会を得るよう働きかけている 	C
◎学校・家庭・地域の連携強化による健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動による青少年の非行防止のための巡視、補導活動の充実 ・青少年を取り巻く有害環境の改善や防止活動の推進 ・いじめや不登校、引きこもりなどの問題に、学校だけでなく家庭や地域が一体となって取り組む態勢づくり ・子どもたちを取り巻く諸問題に対して、サポートする組織の強化と充実 ・悩みを抱える子どもたちを受け入れ、心の支えとなる相談場所や人材の確保と充実 	子育て支援課	<p>子どもや若者の発達に関する深い見識と経験をもった職員により支援を行う必要があることから支援経験が豊富である専門機関に依頼し支援の充実に努めている。家庭相談員2名配置、関係機関と連携し、気軽に相談できる態勢づくりに努めている。</p>	B
		生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を単位として79名の補導委員を選任し、年間56回の街頭補導を実施し、PTA・教職員との合同補導も実施している。 	B
◎学校・家庭・地域の連携強化による学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児童が放課後等を安心・安全に過ごし、多様な体験や学習ができる児童クラブや放課後子ども教室等の充実 ・社会教育施設や関係団体等の連携による休日の子どものための学 	子育て支援課	<p>放課後児童クラブの中で、体験や学習支援を取り組むよう関係機関と連携し検討する。子どもの居場所支援「子ども食堂」</p>	D

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	<p>習支援活動の場の確保と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 家庭での学習が困難であったり、学習が遅れがちな子どもたちの基礎学力の向上を図るため、生活習慣や学習習慣を身につける学習支援の場の検討 		<p>のほかに、体験や学習支援を取り入れるよう働きかける。</p>	
<p>◎多様な体験活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の諸団体同士の連携による活動の促進 • 遊び場やスポーツ活動、野外活動、文化活動の場としての公共施設の有効活用と利用の促進 • 通学合宿等の生活体験の実施 • 様々なボランティア活動の促進 • 伝統文化を理解する機会の充実と継承活動の推進 • 自然環境問題への実践活動の充実 	<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 平成 30 年度モデル実施に向けた調査、研究を実施した。学校・子育て支援課との調整、連携が不可欠となる。 	<p>E</p>
<p>◎高度情報化社会への対応と情報教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者や児童生徒に対するインターネットやSNS等の正しい利用方法や危険性に関する学習機会の充実 	<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 体験活動への支援として、育成会向けのバス利用「体験学習号」の運行を実施している。 • 子どもたちの生きる力を育むために、少年リーダー研修会を通じて自然体験学習等を開催している。 • 子どもたちの自主性や協調性を養うため、小学生のリーダー研修会を実施しているが、育成の成果はなかなか見えにくい。 • (公財)育てる会の施設を活用して山留生と美麻・八坂地区の小学5.6年生と一緒に通学合宿を4泊5日で実施した。 • 子ども球技大会と駅伝大会を開催しているが、少子化等の影響により、駅伝大会の存続が難しくなっている。 • 地区の高校生が、ゴミ拾い等のボランティア活動や新聞の発行、お盆球技大会を開催しているが、対象者の減少により存続が難しくなっている。 <p>青少年育成市民大会、人権を考える市民の集いなどあらゆる機会を利用して啓発と学習を進めているが、情報化の進展に追いつくにはさらに努力が必要。</p>	<p>B</p> <p>C</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎郷土愛や、自分、周囲の人を大切に思う心を育む活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールにおける子どもたちの様々な学習の場の充実と地域住民の積極的な参画の促進 ・郷土学習の充実 ・人権を尊重する意識を高める機会の提供と支援 ・異文化交流による、多様な価値観を尊重する心の醸成 ・山村留学の都市児童の積極的な受け入れによる交流の促進と地元児童双方の教育効果の増進 	<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター、ボランティアなど人材の共用、運動会、人権を考える市民の集いへの学校参加により、地域社会と子供たちとのつながりを深めている。 ・メンドシーノ国際交流支援 ・山村留学実施主体の公益財団法人育てる会と受入農家を支援する山村留学推進協議会へ補助を行っている。受入農家の高齢化が進んでおり、後継者の確保が課題である。 	<p>B</p>
<p>◎地域を担う人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での福祉・環境・奉仕活動・職場体験等の社会体験の促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・お手伝いし隊事業によるボランティア体験学習、子ども会のガードレール磨き活動支援を実施 ・育児ボランティア養成講座を実施 	<p>C</p>
<p>◎子ども会活動の活性化と少年リーダー等の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動の促進と育成会による支援 ・子ども体験学習号の運行と積極的な活用 ・子ども会リーダー研修会等でのリーダーの育成と活動の場の充実 ・子どもたちの主体的な活動をサポートする地域の指導者の育成と確保 ・リーダーバンクへの指導・育成者の登録の促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・地区子ども会育成連絡協議会の事務局を公民館が担当し、活動支援に当たっている。 ・子ども体験学習号を運行し、子ども会育成会の活動の多様化に貢献している。 ・ジュニアリーダー、シニアリーダー研修会を実施することで、リーダーを育成すると共に、子ども会育成協議会の役員が指導者としての経験を蓄積する場にもなっている。 ・リーダーバンクを設置し、指導者の紹介を実施しているが、一部の指導者だけに依頼が集中する傾向があり、幅広い組織的な学習活動を自主的に企画する土壌を醸成する必要がある。 	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

【特色ある交流事業の推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎姉妹都市交流	・地域学習と姉妹都市との交流により、交流先の都市への理解を深めるとともに、大町の新たな魅力を発見する機会の提供	学校教育課	・姉妹都市中学生サミットでの交流を通じ、両市の理解が深まり魅力の再発見につながっている。 ・立川市内の複数の中学校による、スキー教室の実施により新たな交流が生まれている。	A
◎山村留学を通じた都市交流の促進	・山村留学経験者や関係者と連携した地域活動の実施による都市交流の促進	八坂支所	地域づくり協議会が中心となり、山村留学OB、保護者が地区内の運動会や八坂夏まつりへの参加をし、地区内住民との交流を行っている。	B
		美麻支所	山村留学OB、保護者が地区内運動会や行事に参加し、地区住民との交流を行っている。	B
◎メンドシーノ姉妹都市交流事業	・訪問団の派遣と受入れの隔年実施	美麻支所	29年度は、姉妹都市交流訪問団（大人8名、子ども17名、芸術家3名の計28名）の受け入れを行った。 歓迎会・学校交流会・ホストファミリー宅宿泊・市役所訪問・交流会等を通じ交流を深めることができている。また、双方の芸術家による交流も10周年を迎えた。 市は、交流実行委員会への負担金交付、事務・会計を担っている。	A

第1 ふるさに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (平成33年度)	担当課	H29 数値	課題等
放課後・土日学習支援活動実施施設	—	1施設以上	子育て支援課	—	実施場所、人材の確保
家庭教育懇談会開催会場数	6会場	10会場	生涯学習課	6会場	6会場とも社地区での開催であり、他地区での開催については、地域子育てセミナーと兼ねた内容とするなど、さらなる広がりを検討することが必要
ジュニア・シニアリーダー登録者数	11人	12人	生涯学習課	27人	

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
学校教育環境に満足していると思う市民の割合	63.0%	80%
地域ぐるみの非行防止と青少年健全育成に満足していると思う市民の割合	63.6%	70%
地域に向け開かれ、地域と連携した学校運営がなされていると思う市民の割合	61.0%	75%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、大町市過疎地域自立促進計画

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
小・中学校英語指導助手配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
学習支援員等配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
	110127	奨学金事業	学校教育課
山村留学事業	110128	山村留学支援事業	生涯学習課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
	110417	人権教育推進事業	生涯学習課
	110422	青少年育成事業	生涯学習課
	110435	大町公民館活動費	生涯学習課
	110437	平公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課
メンドシーノ姉妹都市交流事業	121126	メンドシーノ交流事業	美麻支所

※実施計画に該当しない事務事業についても、本施策に該当していれば記入してください。（その場合、実施計画名欄は空欄とし、事務事業No.及び事業名（予算書）欄へ記入してください。）

◆2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供◆

生涯学習は、個人の生きがいや教養、趣味、レクリエーション活動等に関する学習だけでなく、市民一人ひとりが地域と関わり、地域課題、生活課題の解決に向けて一体となった「学びの絆」や、学びの成果を地域に還元する「学びの循環」としての要素がますます重要になっています。

生涯学習推進プランや社会教育計画に基づき、生涯各期における学習機会や多様な分野の学習機会の充実、学習環境の整備を進めるとともに、地域づくりや子育てなど、市民と行政、市民同士の連携、協働態勢を構築し、生きがいに満ちた生涯学習の推進を図ります。

【生涯各期における学習活動の充実】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎生涯各期における学習機会の充実	・乳幼児期から高齢期の段階に応じた学習機会の提供と充実	生涯学習課	生涯学習課のあらゆる事業において、講座、講演会、イベントなどの形で学習機会を提供しているが、年代により事業内容が偏る傾向があり、20代から50代に特にその傾向が強い。	B
		市 民 課	母子保健事業をはじめ、地区健康相談や健康づくり推進委員会など学習会等を活用し健康に関し学ぶ機会を提供している。働きざかりの年代の参加者が少ない。	B

【社会教育の充実と活性化】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎社会教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な分野の学習機会の充実と支援 ・地域課題、生活課題に関する学習の強化 ・郷土学習の推進 ・全市的な教育課題に対する取り組みの強化 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・講座、講演会、イベントを通じて多様な学習機会を提供している。 ・地域課題、生活課題に関する学習は、地域により取り組みに差がある。 ・郷土の歴史については学習要望が高い ・自主的なグループによる学習支援も行っているが、高齢化により解散するケースが増えている。 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎公民館事業の充実と活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業の推進 ・自主グループ等の活動の支援 ・地域コミュニティの活動の支援 	<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会などスポーツイベントを中心に参加者が減少し、伝統的な地域を単位とした行事の実施が難しくなっている。 ・地域コミュニティに参加しない住民が増えていることから、そうした住民が参加し、地域への帰属意識を高める事業展開に努める。 	<p>C</p>
		<p>まちづくり交流課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体には、活動に必要な備品類の貸出や印刷のサービスまた情報提供、情報発信、補助金の相談などの活動支援を行っている。団体間連携を望む声もあり、意見交換会を開催し好評だった。今後は、こうした機会を増やしていく。 ・連合自治会事務局、大町地区連合自治会事務局として、自治会の抱える問題等に相談窓口として対応している。少子高齢化により、役員のなり手がなく、行事等の運営が成り立たないなど課題は多いが、頑張っている自治会の活動を情報発信するなど地域コミュニティの大切さを伝えていく。 	<p>B</p>
<p>◎図書館の充実と読書活動等の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすい図書館サービスの充実 ・子どもから大人までの読書活動の促進 ・読み聞かせ活動等多様な分野でのボランティア活動の推進 ・他の施設やボランティアとの連携による事業の充実 	<p>生涯学習課</p>	<p>子ども向けのおはなし会やブックリストの作成、くまの子文庫、セカンドブックの実施。高齢者施設読み聞かせ訪問。学校図書館司書との懇談会の開催</p>	<p>B</p>
<p>◎他機関との連携、協力の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設をはじめ民間の教育施設等との積極的な連携と協力による学習機会の拡充 		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー博物館の運営支援を行い、市の大きな特色である水力発電と自然環境を柱とする郷土学習に活用している。 	<p>C</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野アートライン推進協議会を結成して広域的な美術・博物館施設を一体的にアピールすることで、相乗効果を図っている。 	
--	--	--	--

【多様な分野の学習活動の促進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎社会情勢の変化に対応した学習の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を知り、発信する学習活動の充実強化 ・防災意識の啓発と学習活動の充実 ・外国語講座等国际理解を深める学習や各種交流事業の充実 ・情報化社会に対応したパソコン教室や情報セキュリティ対策などの学習機会の充実 	生涯学習課	外国人に向けた日本語講座を開設し、国際理解を深めるよう努めている。	C
		消防防災課	自主防災会を中心に地域で防災訓練を実施。地震総合防災訓練や春秋に実施している住民参加型訓練、消防団が開催している消防フェスタなどで防災意識の高揚と知識の習得の機会を設けている。	B
		情報交通課	学習活動に知見を有する大学や企業等をメンバーに含めたICT学習活動促進協議会を立ち上げ、児童、生徒、地域住民がプログラミングを学ぶことができる事業を実施していく。(平成30年度～)	B
◎アルプス囲碁村づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や学校などへの囲碁普及員派遣による囲碁の普及啓発活動 ・アルプス囲碁村まつり等の交流イベントの開催 ・囲碁普及員や学校囲碁指導員の育成 	企画財政課	アルプス囲碁村推進協議会において囲碁普及員の派遣により囲碁の普及に取り組んでいるが、小・中学生への普及については、授業時間の都合等により、取り組みが進んでいない状況にある。市内全保育園での取組が繋がっていないことが課題である。教育委員会との連携をさらに深め継続して取り組みを進められる環境づくりを目指す必要がある。囲碁村まつり等の様々な機会において「囲碁初心者講座」等の開	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			催に努め、幅広い年齢層の普及を進めていく。	
◎山岳文化都市としての情報発信や学習活動の充実と促進	<ul style="list-style-type: none"> 山岳情報や山岳文化・歴史、山岳の自然や生き物など山岳文化都市としての積極的な情報発信 博物館としての機能や施設の充実 「北アルプスの自然と人」を基調とした常設展や企画展等の開催に併せた講演会、出版等の実施 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪渓の氷河認定を契機とした北アルプスや氷河への関心の喚起 	山岳博物館	企画展や特別展の開催、研究紀要や山と博物館の発行、ホームページの開設やマスコミ等への取材対応、その他様々なイベントや講演会等の開催により、情報発信や教育普及事業を積極的に実施している。ライチョウ飼育繁殖やカクネ里氷河調査等の調査研究事業の成果についても、広報おおまちを始め、報告会等の開催など、様々な機会を通じて積極的な情報提供を図っている。また、学社連携事業として、市内学校との連携・融合を図り、博物館の活用による学習会の開催、出張講座の開催等事業を拡大すると共に、山博友の会との共催による学習会や観察会なども実施している。	A

【自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築】 進捗状況：A・・・順調/B・・・おおむね順調/C・・・やや遅れている/D・・・遅れている/E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎情報提供・相談事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学習ニーズに対応する多様なメディアを用いた情報提供の推進と環境整備 適切な助言と情報提供を一体化した学習相談態勢の確立 生涯学習リーダーバンクの登録の促進と積極的な活用 市職員の出張講座による学習機会の充実 自主的な市民活動の情報提供と支援 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関係のあるイベント等の情報を広域から集め「がったつうしん」を作成し、紙媒体で配布するとともにHPに掲載している 文化会館、図書館の情報はSNSへの発信も開始した リーダーバンクは、登録者が活躍できるような自主的集団学習を促進することが課題 サークルー日体験の推進度を通じて、自主文化活動団体への支援と情報提供に努めている 	C

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎社会教育推進態勢の強化と施設機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設等の機能強化と施設間の連携、協力態勢の強化 関係機関、団体等と連携、協力した学習活動や事業の充実 社会教育施設等の自己評価による事業の改善 社会教育施設等の適切な維持管理と快適な環境づくり 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 子ども体験学習号での施設利用メニュー提案、学習活動における相互利用などで施設間、関係団体等の協力、連携を図っている 社会教育施設には、運営審議会、委員会、協議会を置いて事業計画、事業報告を審議し、意見を取り入れて民意を反映するよう心がけている 施設駆体の寿命を意識した大規模修繕計画と実耐用年数を見とおして使用不能になる前に改修する計画的な維持管理を行う 	B
◎学習成果の評価と活用	<ul style="list-style-type: none"> 学習の成果を地域社会で活かすための支援の充実と活動機会の整備 個人のキャリア向上につながる取組みの充実 		文化祭、サークル活動発表、市民芸能まつり、雪形まつりなど学習成果の発表の場を提供している	B
◎生涯学習ボランティアの活動促進	<ul style="list-style-type: none"> 多様なボランティア活動への参加啓発と活動の機会や環境の整備 個人や団体のボランティア活動の支援と連携態勢づくり ボランティアコーディネーターなど専門的かつ中心的な指導者の育成 リーダーバンクへの登録の促進と活動の充実 		お手伝いし隊の実施、育児ボランティア養成講座の開設などボランティア活動への施策はまだ少ないため、今後事業を拡大していく必要がある。	C

◆数値目標◆

目標項目	基準値	目標値 (平成33年度)	担当課	H29 数値	課題等
公民館利用者数	93,099人	93,000人	生涯学習課	86,255人	
公民館講座等開催数	445回	450回	生涯学習課	233回	自主的な学習を継続するよう誘導する
公民館講座等受講者数	9,679人	9,700人	生涯学習課	7,651人	

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

図書館年間貸出冊数	154,641 冊	155,000 冊	生涯学習課	143,200 冊	少子化に伴い貸出冊数も減少
図書館来館者数	44,178 人	44,000 人	生涯学習課	56,264 人	年度の途中で集計方法変更による増
生涯学習リーダーバンク登録者数	59 人	80 人	生涯学習課	65 人	学習需要のある分野の人材を発掘
	20 団体	25 団体	生涯学習課	24 団体	
生涯学習のまちづくり出張講座メニュー数	128 項目	140 項目	生涯学習課	127 項目	
生涯学習のまちづくり出張講座利用件数	111 件	130 件	生涯学習課	89 件	
生涯学習のまちづくり出張講座利用者数	4,133 人	4,300 人	生涯学習課	2,111 人	
囲碁普及員派遣延べ時間	348 時間	350 時間	企画財政課	379.5 時間	普及員の派遣時間数は増加しているが、少子化等の影響により受講者数が減少している。今後日本棋院大町支部との連携やSNS等の活用により、青～成年期等幅広い受講者の増加に向けた取組みを検討していく。
山岳博物館年間入館者数	18,294 人	21,000 人	山岳博物館	18,692 人	入館者増への施策の検討が必要

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
生涯学習の場や機会の充実に満足していると思う市民の割合	63.3%	70%
公民館活動に満足していると思う市民の割合	73.0%	80%
山岳文化都市づくりを聞いたことがある市民の割合	41.3%	60%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、アルプス囲碁村計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
アルプス囲碁村推進事業	12136	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課
	15124	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課
	110414	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
	110435	大町公民館活動費	生涯学習課
	110437	平公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課
	110443	図書資料購入事業	生涯学習課
山岳博物館教育事業	110613	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館
付属園整備事業	1106112	付属園整備事業	山岳博物館
付属園整備事業	1106116	繰越明許費付属園整備事業	山岳博物館

※実施計画に該当しない事務事業についても、本施策に該当していれば記入してください。（その場合、実施計画名欄は空欄とし、事務事業No.及び事業名（予算書）欄へ記入してください。）

◆3 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実◆

文化会館や山岳博物館をはじめとする文化施設について、市民の幅広い芸術文化活動の場や芸術文化創造の場としての活用を進めます。また、現在活動している各種サークル等の連携を促進し、地域全体の芸術文化活動の振興を図ります。

特に、国内外からアーティストを招へいし、地域資源を活用した芸術創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンスを積極的に展開し、本市の新たな魅力の創造や交流を通じて、市民が身近に芸術文化に触れる機会を創造します。

また、市民一人ひとりが、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図ります。

【芸術文化の振興】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎芸術文化の振興と芸術鑑賞、体験機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員による調査、研究や提言活動の推進 ・展覧会等の情報提供や美術館めぐりの開催 ・文化会館の自主事業の充実 ・子どもたちの芸術鑑賞の機会の充実 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・美術振興専門委員会を設置し美術振興に対する提言を受けている。 ・「美術館めぐり」を実施し、芸術文化にふれる機会を提供するなど。芸術文化に対する情操や感性の育成に努めている。 ・文化会館自主事業の実施によって市民が優れた芸術文化に触れる機会を確保している ・市が所有する絵画と市にゆかりのある作家の美術品展覧会を実施し、優れた芸術作品に接する機会の拡充を図った 	B
美術作品等の整理と一般公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品等の台帳の整備や作品等の一般公開の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・美術品台帳の補完整備を行った ・市が所有する絵画と市にゆかりのある作家の美術品展覧会を実施した 	C
◎市民の自主的で主体的な芸術文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自主的かつ主体的な芸術文化活動の促進のための支援 ・文化祭、芸術祭等の芸術文化活動の発表の場の確保と支援 ・行政と民間等との協働による事業の実施 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動をしている市民団体に、ギャラリー・いーずらの貸し出しをしており、絵画・写真展などに利用していただいている。 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			<ul style="list-style-type: none"> ・大町市文化祭開催11月3日から5日まで45団体作品約1,700点 ・大町市民芸術祭の開催(ジャンルごとに3日間) ・大町市少年少女合唱団定期演奏会とはばたきの集いを事務局として開催支援 ・文化会館開館30周年記念事業として、第9市民合唱団を組織し、育成支援と演奏会の企画実施を行った。 ・地区文化祭を開し、催地域の幅広い年代の作品展示。作品及び発表者の減少が課題 	
		八坂支所	地区独自の文化活動団体への支援(ふれあい倶楽部・青竜太鼓)	B
		美麻支所	公民館と連携し、地区文化祭開催に協力している。また、その様子を地域づくり会議との協働により、CATVに番組提供している。	B
<p>◎芸術文化に関するサークル活動や自治会活動等の奨励と支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルや自治会などの自主運営の拡充と活性化のための支援 ・地区文化祭等の発表の場、体験学習の場の提供と充実 ・団体等の交流と広域的な活動の促進 ・サポーター募集による芸術文化活動に参加できる仕組みの構築 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や市民芸術祭の開催を通して、各種団体の交流、学習を深めて演奏会等の自主開催を促した。 ・大町市少年少女合唱団と大町市芸術文化協会の事務局として市内芸術・文化団体の育成・支援と人材の育成を図った。 ・合唱団と芸術文化協会は、団員の減少や高齢化や協会加盟団体の減少が課題である。活動のPRに努め、会員の増と活性化に努めたい。 ・公民館施設の貸し出しや情報提供等、団体の育成・支援を行って 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			るが、高齢化等により団体の活動は低調さみである。	
		まちづくり交流課	国際芸術祭に参加したボランティアサポーター延べ3,570人 登録者数607人	B

【文化財の保護継承と活用】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎文化財保護の推進と学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の保存修理やパトロール等による破損の防止と環境整備 文化財の保護意識の啓発 郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」の活用 文化財センター、民俗資料館などの施設の活用 未指定文化財の掘り起しと学術調査の実施 県や関係機関等との連携と文化財の調査研究の推進 		<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財・未指定文化財の調査を実施し、保存修理・文化財の環境整備が必要であれば文化財保護の助成を実施している。所有者の高齢化等で、所有者負担が厳しくなっているのが課題となる。 また、文化財保護啓発のため説明板の設置や修繕を実施 郷土学習雑誌は、一部訂正し増版、小学4年生以上に配布して活用を図っている。 	C
◎地域の伝統文化や伝統芸能の保存と継承	<ul style="list-style-type: none"> 文化財講座や文化財めぐりの実施 まちづくり出張講座等による文化財等の学習活動の支援 小中学校との連携による文化財や自然等の学習活動の促進 地域の伝統芸能の後継者育成等、継承のための支援 地域に点在する文化財、民俗資料等の収集保管や、文化祭等での特別展示、巡回展示による積極的な活用の推進 文化財を活用した学習機会の充実 地域の歴史研究会等と連携した講座等の共同開催 伝統芸能等を後世に伝えるための情報収集と記録活動の推進 民俗芸能や風俗、風習などの保存活動と継承活動への支援 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 文化財講座・文化財見学会を実施し、文化財保護啓発活動を推進させるとともに、この一環として地域の伝統文化や伝統芸能の調査や情報提供を実施して無形民俗文化財の継承活動を支援 少子化や高齢化により民俗芸能等の伝授者、継承者が減少し、消えつつある地域も見られるのも課題である 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

【地域の芸術文化の創造】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎アーティスト・イン・レジデンス事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト・イン・レジデンス、芸術祭等の開催と支援 ・芸術文化活動を通じた国内外との交流の促進 ・地域固有の芸術文化資源等の魅力の掘り起しと発信 	まちづくり交流課	<ul style="list-style-type: none"> ・信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業については、北アルプス国際芸術祭への参加作家やスタッフ延べ 1,231 人が滞在制作の拠点として使用し作品制作を行った。また、AIR事業の紹介、課題、注意点などを掲載したマニュアルを作成し、事業の普及・推進を目的として県内全市町村などに配布をした。 ・北アルプス国際芸術祭については、2017年6月4日～7月30日までの57日間で開催。延べ43万人を超える来場者、市内での消費総額は4.7億円と試算された。 	A

【山岳文化の振興と活用】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎調査・研究・教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプスを中心とした山岳文化に関わる人文・自然科学に関する調査研究・情報発信の充実 ・学校教育における総合的な学習の支援 	山岳博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学山岳科学研究所並びに長野県環境保全研究所との協力協定に基づき、カクネ里雪渓(氷河)調査や温暖化調査等、協同研究による具体的な調査を実施している。また、ライチョウ等の希少動物や高山植物、山岳絵画や登山史等の調査研究を実施すると共に、研究成果を企画展や研究紀要等の様々な機会を通じて情報発信している。 ・市内小学校を中心に学社連携による授業を山岳博物館の展示等を活用し実施している。 	A

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>収蔵資料の収集と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 山岳資料や美術資料、標本等、収蔵資料の収集と、企画展示や各施設での巡回展示などによる積極的な活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵資料の収集は自然科学分野で若干の購入資料があるものの、ほとんどが申し出による寄贈や寄託に頼っている現状にある。また、近年は特に人文科学分野で山岳関係図書等の寄贈が急増しており、資料整理等に多大な業務が発生すると共に収蔵スペース不足が懸念されるなど、資料収集活動の計画的且つ抜本的な展開を検討する必要がある。 収蔵資料の活用は、山岳絵画の特別展示や出張展示を実施しているが、その他の収蔵資料については十分な活用が図られていない。今後の展示改修や企画展等に計画的な活用を図りたい。 <p>なお、収蔵施設的环境としては、収蔵スペースの一部には空調機異を整備したものの以前未整備のスペースがあり、収蔵スペースの確保と併せ資料管理に支障が生じているため、改善が必要である。</p>	<p>C</p>
-------------------	---	--	----------

【スポーツの振興】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>◎生涯スポーツの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期からの体力向上や学校と連携したスポーツクラブ活動等、子どものスポーツ活動の推進と充実 各種スポーツ教室や大会の開催、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるスポーツの導入等、スポーツに親しむ機会の充実 保健、福祉部局と連携し、年齢や体力、目的等に応じたスポーツによる健康、体力づくりの推進 	<p>学校教育課</p>	<p>少子化に伴い、生徒のスポーツ活動の機会が損なわれることがないよう、合同部活動等の取組みや、総合型地域スポーツクラブとの融合や協働など取り組みを進めていく。</p>	<p>B</p>
		<p>体 育 課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年長児の運動遊び教室に加え、年中児までを対象に市内保育園等を巡回する運動遊び教室を実施。運 	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			<p>動習慣づけに、より効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人及び高齢者向けの教室については、保健、福祉部局等と、一部連携して実施しているが、同様の内容も多いため、より連携した取り組みを進めていく。 	
<p>◎競技スポーツの推進と指導者の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の育成や競技力の向上と指導者の養成、確保や活用の推進 ・スポーツへの関心を高めるためのトップレベルのスポーツ大会の開催やトップアスリートとの交流の促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年のスポーツ大会等への参加や指導者等の育成等のスポーツ振興事業補助金制度を開始したが、周知不足のため申請が少なかった。 ・国際ジュニア大会となる北アルプスバドミントン OP や、バドミントンのトップリーグとなるS/Jリーグ大町大会を開催することができた。 	<p>B</p>
<p>◎スポーツを通じたコミュニティづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において身近なスポーツ活動の拠点となる総合型地域スポーツクラブの育成支援 ・地域で開催するスポーツ大会や教室、健康づくり等によるコミュニティの再生支援等、スポーツを通じた交流の充実 ・スポーツ活動や大会等を支えるスポーツボランティア活動の促進 ・自然環境を活かした山岳スポーツや、湖、河川での水上スポーツ等、地域特性を生かしたスポーツの振興 ・雪や氷など、自然の恵みを活かした冬季スポーツの振興 	<p>体 育 課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型スポーツクラブの育成支援は、補助金の交付が主のため、今後、組織強化や人材育成等の支援を検討していく。 ・スポーツボランティア活動の促進では、例年、アルプスマラソンでは、多くのボランティアに協力いただいている。また、北アルプスバドミントン OP やS/Jリーグの大会でも協力いただいた。 ・自然環境等を活かしたスポーツでは、木崎湖での力ヌー大会を開催し、冬季スポーツでは、市民スケート、市民スキー大会を開催した。また、西公園グラウンド及び常盤グラウンドにはスケートリンクを開設。スキー、スケート人口が減少傾向にあり、冬季スポーツの楽しみを伝える有効な方法を検討とす 	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			必要がある。 ・第二屋内運動場が完成し、冬期における運動施設が充実した。 ・施設によっては、利用が少ない施設があり、今後の施設利用について検討が必要と考える。また、施設全般に老朽化が進み、修繕等の維持管理に多額の費用が必要となるため、計画的な施設管理を進める。	
スポーツ施設の整備と有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況に応じたスポーツ施設の適切な整備 ・スポーツ施設の有効活用の促進 			B

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	担当課	H29 数値	課題等
文化会館大ホール入場者数	26,872 人	27,000 人	生涯学習課	28,224 人	
文化財めぐり開催数	8 回	12 回	生涯学習課	7 回	受講メニューの再検討。
文化財めぐり参加者数	408 人	500 人	生涯学習課	204 人	参加者の減少。新たな受講者の開拓。
体育施設利用者数	297,682 人	281,500 人	体育課	294,046 人	利用者の少ない施設の有効活用を図る必要がある。
スポーツ教室参加者数	3,156 人	3,000 人	体育課	3,208 人	市民のニーズに合わせた教室の開催を行う。
スポーツ大会参加者数	9,447 人	8,900 人	体育課	8,907 人	
週に1回以上スポーツをする人の割合	48.0%	65%	体育課	-	H30に調査予定

目標実現の条件

- ・大町市人口ビジョンの人口の維持

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
文化遺産や伝統文化芸能の保存と活用がされていると思う市民の割合	65.5%	75%
スポーツの振興について満足していると思う市民の割合	69.6%	80%

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、大町市スポーツ推進計画、大町市過疎地域自立促進計画、文化資源活用ビジョン

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
市民舞台芸術創作事業	121122	市民舞台芸術創作事業	生涯学習課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
文化会館自主文化事業	110453	文化会館公演事業	生涯学習課
文化財保護助成事業	110461	文化財保護一般経費	生涯学習課
市内遺跡発掘調査事業	110462	遺跡発掘調査事業	生涯学習課
	110463	文化財センター管理事業	生涯学習課
	110465	中村家住宅管理事業	生涯学習課
山岳博物館教育事業	110614	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館
動植物飼育栽培繁殖事業	110616	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館
動植物飼育栽培繁殖事業	110617	ライチョウ飼育事業	山岳博物館
動植物飼育栽培繁殖事業	1106124	繰越明許費ライチョウ飼育事業	山岳博物館
	110514	体育大会運営事業	体育課
	110515	スポーツ振興事業	体育課
陸上競技場公認競技場更新事業	110522	体育施設整備事業	体育課
体育器具整備事業	110522	体育施設整備事業	体育課
総合体育館維持管理事業	110522	体育施設整備事業	体育課
体育施設維持管理器材等整備事業	110522	体育施設整備事業	体育課
屋内運動場整備事業	815521	繰越明許費体育施設整備事業	体育課

※実施計画に該当しない事務事業についても、本施策に該当していれば記入してください。（その場合、実施計画名欄は空欄とし、事務事業No.及び事業名（予算書）欄へ記入してください。）